

鉄道安全体感VR ～線路内作業における重大災害防止～

危険に対する感受性を高めるために

【触車、墜落、重機災害等の重大災害を仮想現実で体験できます】

Virtual Reality Contents

触車事故



重機災害



墜落災害



器具置忘れ



- ・私たちの作業は、頻繁に列車が走行する環境の中で、線路を保守しています。これまで行ってきた、紙や動画教育では、学習効果に一定の限界があります。
- ・これまでの座学による教育に代わり、VR※による仮想現実を体験することで、法令や社内ルール等に対し、より高い学習効果が期待できます。

※VRは「Virtual Reality」の略で「人工現実感」や「仮想現実」と訳されています。

【特徴】

- 体験に必要なスペースは、概ね縦3m×横2mで、場所に応じて任意に範囲を設定可能です。
- 各種シナリオの体験時間は約5分で体験できます。
- 被災者としてのリアルな体験後、客観的に被災に至る過程が教訓として学べます。
- 最後に「教訓」を表示することにより、体験者の記憶に残る教育が可能です。
- 持ち運びが容易にできます。

【対応デバイス】

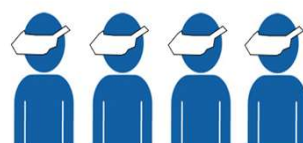
一体型デバイスOculusQuest2を使用。
このデバイスは、コンテンツが内蔵されており、持ち運びが可能で、単体での体験が可能です。



【システム(オプション)】

PCを使用することにより、最大10名まで同時に体験させることが可能です。

同時再生・停止・接続状況確認
一括操作



製品に関するお問い合わせ

【販売元】株式会社 積木製作

〒130-0022 東京都墨田区江東橋2-14-7
錦糸町サンライズビル9F

☎ 03-6666-9220 〆 03-6666-9221

大鉄工業株式会社 線路本部 線路部

〒532-8532 大阪市淀川区西中島3丁目9番15号

☎ 06-6195-6125 〆 06-6195-6128

触車事故防止 線路内作業の危険回避



Scenario 1 : 触車その1

- ・線路内に独断で立ち入ったことにより触車する災害を体験します。
- ・指差確認の重要性、線路内立ち入りにおける危険性について学習します。



Scenario 2 : 触車その2

- ・現場調査時に列車の進来方向を誤って触車する災害を体験します。
- ・早期待避の重要性について学習します。



Scenario 3 : 触車その3

- ・除草作業中に列車ダイヤを見誤って触車する災害を体験します。
- ・列車ダイヤの相互確認の重要性について学習します。



Scenario 4 : 触車その4

- ・現場調査中に、待避せずに作業を続行して触車する災害を体験します。
- ・列車接近時の待避ルールを遵守する重要性について学習します。

重機使用における災害防止

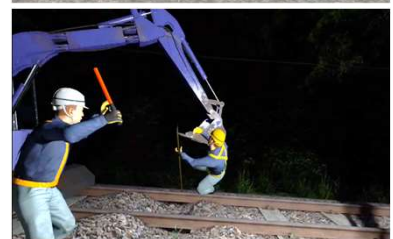
Scenario 5 : 重機災害1

- ・後退りしながらトラックを誘導中に吊り荷が落下する災害を体験します。
- ・吊り荷の下への立ち入り禁止や、玉掛け作業の取扱い等について学習します。



Scenario 6 : 重機災害2

- ・誘導員が不在のまま作業を継続して、BHと衝撃する災害を体験します。
- ・BHの旋回範囲への立入禁止と、誘導員配置の重要性について学習します。



高所作業における墜落防止



Scenario 7 : 橋梁からの墜落

- ・橋梁上の調査において、墜落災害を体験します。
- ・墜落制止用器具の重要性について学習します。
- ・高所作業における安全設備の法令や、墜落制止用器具の使用方について学習します。

機材置忘れによる列車衝撃防止



Scenario 8 : 機材置忘れ

- ・線路内に置き忘れた機材が列車と衝撃し、衝撃した機材が飛来する災害を体験します。
- ・線路内に機材を置き忘れる怖さを体験します。
- ・線路開通確認の重要性について学習します。